

【絵本がもたらす子どもへの影響と効果的な読み方】

1933016 香取 唯 高橋ゼミ

要旨

国や時代を超えて愛されている絵本が存在している。幼児教育において重要な役割を担っている「絵本」は子どもの精神発達にどのような役割を果たしているのかについて知りたいと思った。

また、各地域では子どもや保護者のための読み聞かせに関するイベントなどがあり、子どもの読書活動増進のための取り組みが行われている。家庭における読み聞かせの調査では、成長するにつれ読み聞かせの頻度や長さは減少し、自ら本を読む機会が増えるということが分かった。

そして保育における読み聞かせの役割に関して、年齢ごとの流れを意識して各ねらいごとに保育の中で発達を支援する具体的な絵本の例を挙げながら考えを深めていく。

効果的な読み聞かせの技能に関しては、従来の実践的研究を調査し、読み聞かせの際の「情緒性の有無」に着目すると、物語理解における読み聞かせ方法の違いの差は見られないことが分かった。しかし、心情理解においてはその差が現れ、大げさな演じ分けにおいてより高い理解が示されるという結果となった。このことから、聞き手や読み手の状況や目標によって適する方法を選ぶことが必要であると考えた。